

例もある。同社の導入を契機に、鉄鋼業界でも個別企業や組合・団体へ枠組みが広がることで、有事における柔軟な対応と安定供給体制の構築が一段と進みそつだ。

ントを供給する工業組合など団体での締結事

災害対応型コミットメントライン

メタルテックが締結

5億円枠でBCP対策強化

と商工中金

パンチングメタルメーカ―大手のメタルテック（本社・東京都墨田区、社長・木野裕貴氏）は24日、商工中金

と総額5億円の「災害BCP（事業継続計画）対応型コミットメントライン」契約を締結した。鉄鋼業界での導入事例はまだ少なく、B

時でも安定した資金調達が可能な融資枠だ。一般的なコミットメントラインでは大規模災害が貸付不能事由となるケースがあるが、同契約では一定規模以上の震災等をこれらから除外している。

震や、24時間当たり降水量300ミリ（または1時間当たり50ミリ）以上の大雨などが発生した場合でも、所定の条件に基づき迅速に資金を調達できる。契約期間は6月24日からの1年間（4回の更新オプション付き）。

品を供給する。自然災害で工場稼働や販売が一時困難となっても、人件費や材料費など確定した支払いの原資は確保しなければならぬ。有事に備え円滑な資金調達手段を用意しておくことで、事業の継続性を力強く担保できる。

同社は茨城県稲敷市に主力工場を構え、関東・関西など国内複数拠点から建築や産業機械など幅広い分野へ製品を供給する。自然災害で工場稼働や販売が一時困難となっても、人件費や材料費など確定した支払いの原資は確保しなければならぬ。有事に備え円滑な資金調達手段を用意しておくことで、事業の継続性を力強く担保できる。

鉄鋼製品は復旧・復興に欠かせない重要資材だ。同制度は一企業だけでなく、災害用テ

